

令和4年（2022年）6月教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年（2022年）6月28日（火） 午後1時30分～午後3時05分

会 場 柏崎市役所4階4-4会議室

出席者	教育長	近藤喜祐
	委員（教育長職務代理者）	米谷杉子
	委員	阿部健志
	委員	三嶋崇史
	委員	梅田広美

説明のため出席した職員

教育部長	宮崎靖彦
教育総務課長	田辺文敏
学校教育課長 兼 教育センター所長	池田弘
文化・生涯学習課係長	池田良
スポーツ振興課長 兼 水球のまち推進室長	関矢隆志
図書館長	平田晃
博物館長	西巻隆博

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課主査	清水昭彦
---------	------

議 題

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 教育長専決処理報告
 - (1) 教育財産の取得について
- 3 協議事項
 - (1) 令和3（2021）年度柏崎市教育委員会点検・評価報告書の諮問について
- 4 報告事項
 - (1) 市議会6月定例会議の一般質問について
 - (2) 野外おんがく堂2022の終了について
 - (3) 第65回柏崎市美術展覧会（市展）の作品募集について
 - (4) スポーツイベントの実施報告と開催告知について
 - (5) 水球の国際大会出場者に激励金を贈呈しました
 - (6) 海で水球in柏崎の開催について
 - (7) NHK「わたしの尾瀬」写真展及びなつかしのえんま市写真展の実施報告について

- (8) 絵本・こどもフェスタ 人形劇「おしいれのぼうけん」の実施報告について
 - (9) 共催・後援の事業について
 - 5 その他
 - (1) 7月定例会の日程について
 - (2) その他
-

＜ 午後1時30分 開会 ＞

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、米谷委員、三嶋委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。本審議は、非公開で行う。

- (1) 教育財産の取得について、を議題とする。

＜非公開審議＞

第3 協議事項

(近藤教育長)

- (1) 令和3（2021）年度柏崎市教育委員会点検・評価報告書の諮問について

(教育総務課長)

地方教育行政組織及び運営に関する法律の規定に基づいて、令和3（2021）年度に執行した教育委員会の事務の点検及び評価を行うにあたり、評価委員会で諮問をするものである。

はじめに、点検・評価の背景については先ほどのとおりとなる。詳しくは割愛する。

点検・評価対象は第五次総合計画の前期計画の施策体系を基本に柏崎市教育大綱を踏まえて、昨年度執行した事業のうち75事業を対象としている。内部評価ランキングについては、昨年度と同様のS、A、Bの3段階のほか、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で事業を実施しているがやむを得ず中止・縮小し、評価ができない事業については評価不問とした。

資料の2から5ページの総評、項目別の評価については、評価議会において取りまとめ結果を記載している。6から7ページについては、昨年度の教育委員会の活動を記載している。8ページ以降については、各事業の説明を事業別にまとめて記載している。

現時点での評価ランキングについては、担当課の自己評価を教育長・教育部長が精査して、教育委員会として評価、精査したものである。内訳だが、2か所訂正がある。1か所目は、点検・評価報告書の21ページ目、48番。図書館事業のイベント・講座の開催について。評価ランクAとあるが、Sに訂正。2か所目は、図書館事業評価ランクの変更に伴い、2ページ目、講評ランク別事業数に変更がある。Sランク4、Aランク69事業とあるが、Sランク5、Aランク68事業に変更。他は変更なし。

今後の予定についてだが、7月6、7日に評価委員会を開催。担当課が所管事業の説明をし、

21日に評価委員会から講評をいただく。その結果を7月下旬に市長・副市長に報告し、8月の教育委員会でその内容を審議いただく。また、9月には市議会へ報告する予定である。個別事業については、説明を省略する。質問、意見等あれば担当課がお答えする。

(近藤教育長)

区切りながら質問、意見を求める。7ページまでで質問、意見を求める。

(米谷委員)

7ページの出席事業について。3月の小・中学校の卒業式は、出席はなかったと思われる。

(教育総務課長)

修正する。

(米谷委員)

11月の綾子舞伝承学習発表会は、学校には行っていないと思うがいかがか。親と子どものみだったと思われる。

(教育総務課長)

確認する。年度内のものについては、全て確認をする。

(近藤教育長)

コロナ拡大前と異なる部分もあるかと思うので、気づきがあれば御指摘をいただきたい。他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

次に、8ページから18ページまでで質問、意見を求める。

(阿部委員)

17～19ページで、Sランクがあるが、それ以外それ以降の部分は紙だけ見てもわからないところもある。20番、23番の部分がナーバスで難しいと思われるが、このあたりもSランクでいいのではないかと思う。

(学校教育課長)

今回、特別支援関係でSを3つつけたが、20番の「心の相談員事業」については、ずいぶん前から計画的に行っているところである。予算額が少額だが、地道な活動で継続している。県のスクールカウンセラーの配置が変化しており、市としてはそれに対応している。大きな成果というよりは地道な活動で支え、子どもたちのために努力しているところもあることから、あえてSはつけなかった。

(文化・生涯学習課課長代理)

課長の代わりに出席していることもあり、この件については持ち帰らせてほしい。改めて、課長から説明させていただく。

(近藤教育長)

後日、何らかの形で回答を求める。

(米谷委員)

9ページの指導補助事業内の日本語指導員の配置について、市内で日本語指導員による指導をしていることは承知していなかったため、実態の詳細説明を求める。

また、阿部委員が言われるように特別支援学級に属する必要がある児童生徒が増えていると

のことだが、現場の感覚として認定基準が上がったから増えているのか。実際必要だと現場で感じて、特別支援学級に入る子どもが増えているのか。

(学校教育課長)

日本語指導員については、仕事などの関係で、海外から家族で市内に引っ越してくる方々がいる。その際に、子どもは市内の小中学校に通うことになるが、言葉がわからず学習が効率的に行えないことから、一定の期間や時間という条件があるが市で独自に予算をつけた。昨年度、半田小と榎原小で、中国系・フィリピン系の子どもの指導を行った。今年度は、韓国語系の子どもの指導を行っている。

特別支援学級については、対象となる児童生徒の割合が増えているのは事実である。本市は県内においても特別支援学級に在籍する子どもの数が多い。幼少期からの療育や、特別支援教育の体制が充実しているので理解が広まっている。一定の検査などを経た上で就学判断を行い、特別支援学級への進学を勧めると保護者は納得し、在籍となるケースが増えている。本市は、他市町村に比べて適切な理解が深まっているので、数が増えているという実態がある。

(近藤教育長)

後半部分を補足する。柏崎の子どもたちが、他市町村と比べてどうという訳ではなく、保護者の認知度が高いのだと思う。早い段階で療育支援を行うので、保護者も早い段階で療育を受けさせたいという思いが芽生えるし、ケース・バイ・ケースで療育を受けることができる。特別支援学級と聞くと、未だに敷居が高いと感じる市町村もある。特別支援学級を進めると、拒絶するところもあるが、柏崎の場合は積極的に保護者が受け入れるので、子どもが適切な療育を受けることが可能になっている。

(梅田委員)

田尻小の特別支援学級について、他校の児童も通えるとのこと。他にそのような体制をとっている学校はあるのか。また、アレルギーをもつ子どもも多くなっているが、柏崎市でも割合は多いのか。

(学校教育課長)

13ページの17に通級指導教室事業にて、田尻小に発達障害通級教室が新設された。県が認めて教室を作り、人員を配置したものである。市内には発達障害の通級指導教室が4つあり、言語通級指導教室が3つある。柏崎をエリアごとに分けて、自宅から近い学校に通うことができるようになっている。以前は教室が少なく、通学も遠距離になっていたが、昨年度は田尻小に新設され、言語通級指導教室も1つ増えたことから、効率よく学べる体制が整ってきている。

アレルギーについては、全国的に見てもそうだが、アレルギー症状を有する子どもの数が全体的に増えている。給食等で別メニュー対応をしなければならない子どもが増えている。また、エピペンを持参する子どもも増えており、使用する場面や使い方などの研修を教職員向けに行っている。さらに、教育委員会をはじめ、学校内の管理職や養護教諭を含む全職員、保護者における緊急時の対応体制の整備を行っている。

(近藤教育長)

他になれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

次に、19ページから23ページまでで質問、意見を求める。
なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

24ページから27ページまでで質問、意見を求める。

(阿部委員)

61番の合宿の誘致について。明大スポーツ新聞に広告を掲載したとあるが、何故明大スポーツ新聞なのか。柏崎は早稲田の方が来ることが多いのだが、何故明大なのか。

また、他市町村では青学大や東洋大などが来ているが、柏崎では他にどの学校が来ているのか。コロナ前の情報で良いので教えてほしい。

(スポーツ振興課長)

明大スポーツ新聞の方から売り込みがあり、紙面を自由に使えること、また、安価だったことから試験的に実施した。

合宿について、現在はコロナの関係もあり、来ている学校はない。アクアパークのプールはスポーツ合宿で使用されることが多い。宿泊費や交通費を含めても、都内のプールを使用するよりプールの使用料が安いことから、日本女子体育大学や埼玉県選抜チームなど県外の利用が増えている。野球関係だと、人づてに誘致をかけている段階である。駅伝チームが高柳で合宿をしたいとのことで現在交渉中である。

(近藤教育長)

28ページから33ページまでで質問、意見を求める。

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

点検評価全体について、質問、意見を求める。

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課（館）長が資料に沿って説明

- (1) 市議会6月定例会議の一般質問について
- (2) 野外おんがく堂2022の終了について
- (3) 第65回柏崎市美術展覧会（市展）の作品募集について
- (4) スポーツイベントの実施報告と開催告知について
- (5) 水球の国際大会出場者に激励金を贈呈しました

- (6) 海で水球in柏崎の開催について
- (7) NHK「わたしの尾瀬」写真展及びなつかしのえんま市写真展の実施報告について
- (8) 絵本・こどもフェスタ 人形劇「おしいれのぼうけん」の実施報告について
- (9) 共催・後援の事業について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

- (1) 7月定例会の日程について 7月27日(水)午後1時30分開会
- (2) その他

(三嶋委員)

誘拐の件について、各小中学校ではどのように対応しているのか。教育委員会としては、そのような恐れがある場合は警察に伝えているのか。

(学校教育課長)

令和4(2022)年5月29日に、総務課へ市のホームページを介してそのような情報が寄せられた。総務課から学校教育課に連絡があり、すぐに警察へ連絡をするとともにどのような対応をとるのか協議をおこなった。寄せられた内容に「5月31日火曜日の午後小学生を誘拐」との文言が入っていたため、教育委員会では、その時間帯に警察からのパトロール、集団下校などの措置をとろうと考え、危機管理監とともに市長・副市長へ報告を行った。そこで市長から、そこまでの対応をとる必要はないとの指示があったことから、市では特別な対応を実施しなかった。その後判明したことだが、全国の市町村で同様の事例があり、自治体によっては慎重な対応をしたところもあるようだが、結果として何も起こらなかった。

(近藤教育長)

対応を行っていないというよりは、警察に連絡し、下校時にパトロールを強化してもらった。教職員レベルで対応し、校区内の見回りを行った。

< 午後3時05分 閉会 >

以上、相違ないことを確認する。

令和4年(2022年)7月27日

教育長 近藤喜祐

委員 米谷杉子

委員 三嶋崇史